

# 新型コロナウイルス感染拡大における 透析患者の生活への影響

医療法人社団スマイル クレア焼山クリニック<sup>1)</sup>  
博愛クリニック<sup>2)</sup> 広島大学病院腎臓内科<sup>3)</sup>

○大橋智恵<sup>1)</sup> 坊坂桂子<sup>1)</sup> 松下剛史<sup>1)</sup> 桐林 慶<sup>1)</sup>  
藤井恵子<sup>2)</sup> 高杉啓一郎<sup>2)</sup> 正木崇生<sup>3)</sup>

# はじめに

世界中に甚大な被害をもたらしている新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、罹患の有無に関わらず私たちの生活に影響を与えている。我が国でも2020年4月～5月には政府より緊急事態宣言が発令され、行動制限を余儀なくされた。

COVID-19による透析患者の致死率は一般人口と比べ約6倍と非常に高率である。更に患者・家族共に高齢化が進んでおり、感染の危険性が高いため今、なお緊迫した日々が続いている。

# 目 的

今回当院の血液透析患者に対し、COVID-19がもたらす生活への影響を知るためアンケート調査を行った。

# 対象と方法

## 対象

外来血液透析患者 76名 (男/女=54/22)

年齢 74.1±10.3歳

透析歴 7.3±5.8年 (平均±S.D.)

## 方法

COVID-19の感染拡大による生活の変化について、独自にアンケートを作成し、患者又は家族による記載及び聞きとりにて回収  
(調査時期:2020年10月)

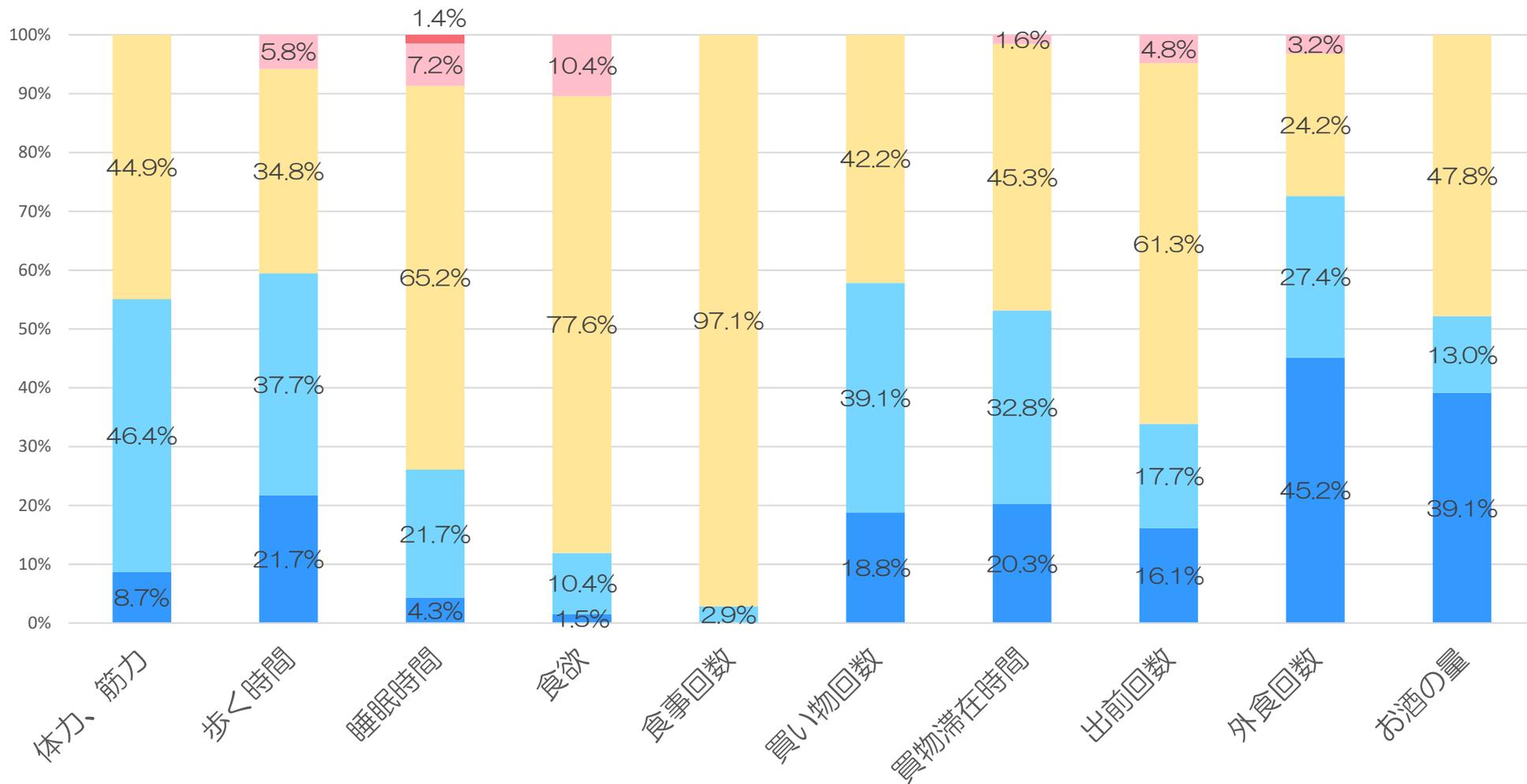
無回答については集計から除外した

## アンケートの構成

身体面と食事面・生活面・感染予防・心理面の変化についての  
5段階選択

# <結果1> 身体面・食事について

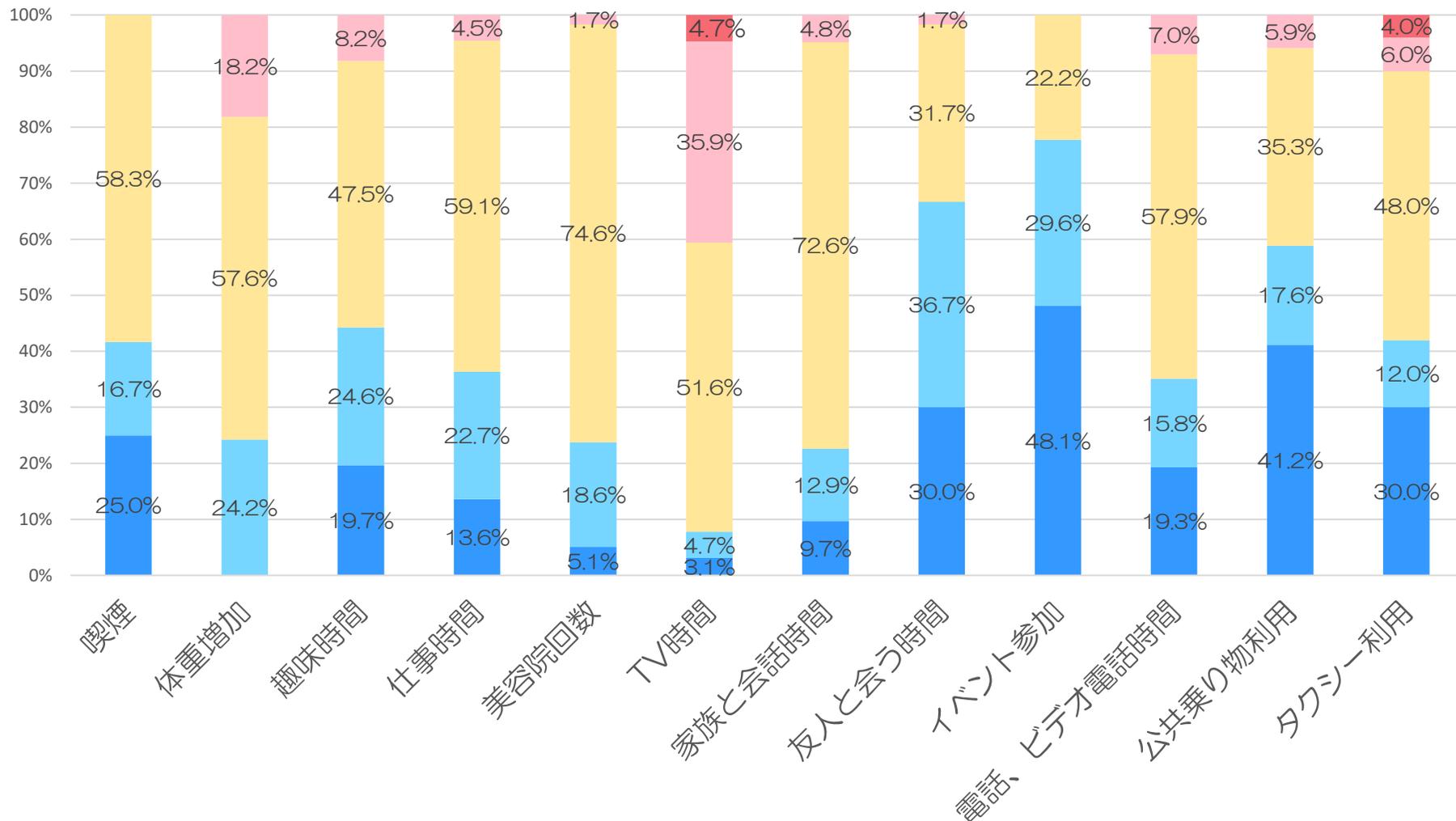
■ 非常に減った ■ 減った ■ 変わらない ■ 増えた ■ 非常に増えた



小括：自覚的な体力、筋力・歩く時間・外食は減少している

# <結果2> 生活全般について

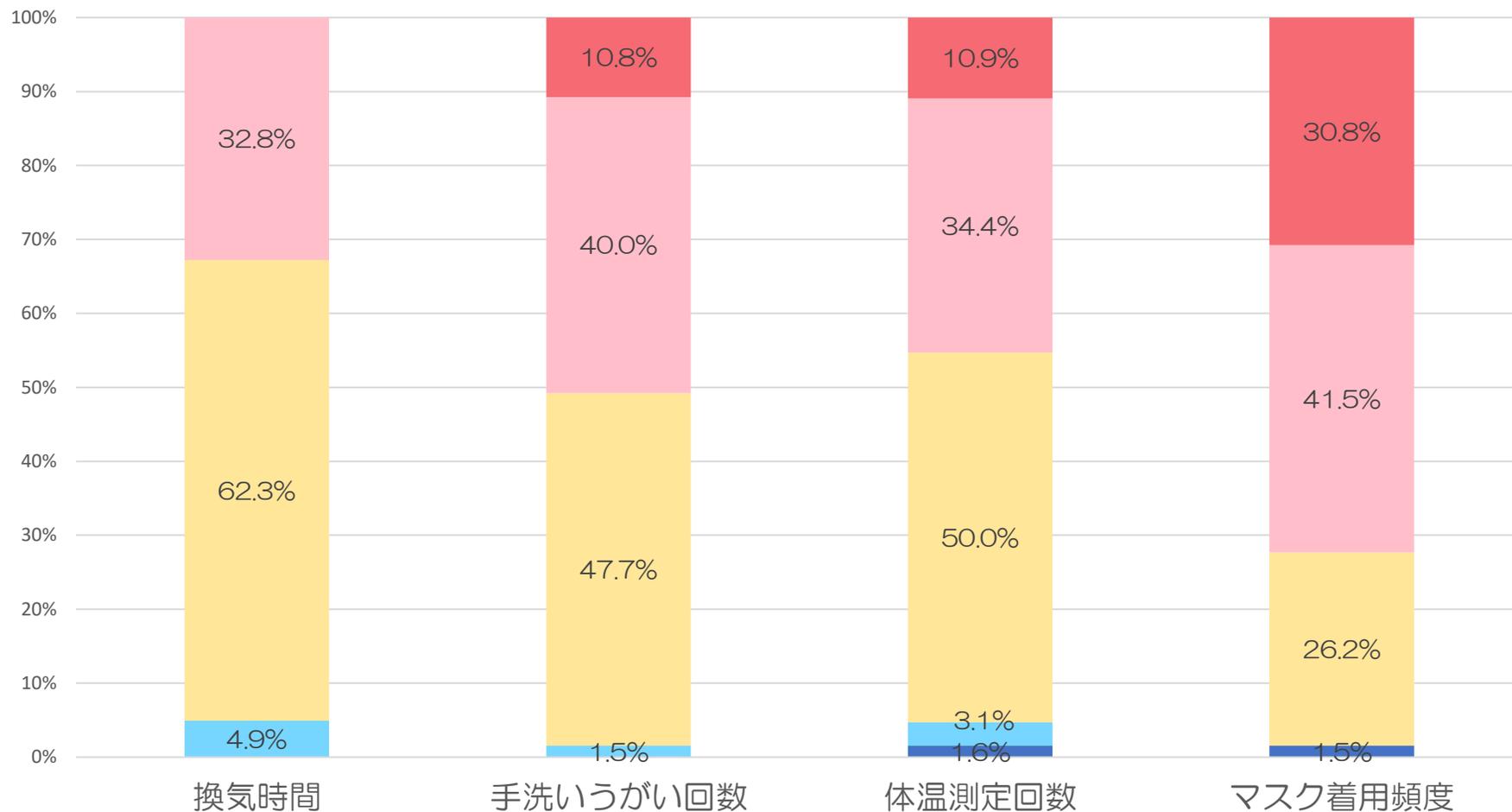
■ 非常に減った ■ 減った ■ 変わらない ■ 増えた ■ 非常に増えた



小括：友人と会う時間が減少しテレビを見る時間が増加している

# <結果3> 感染予防について

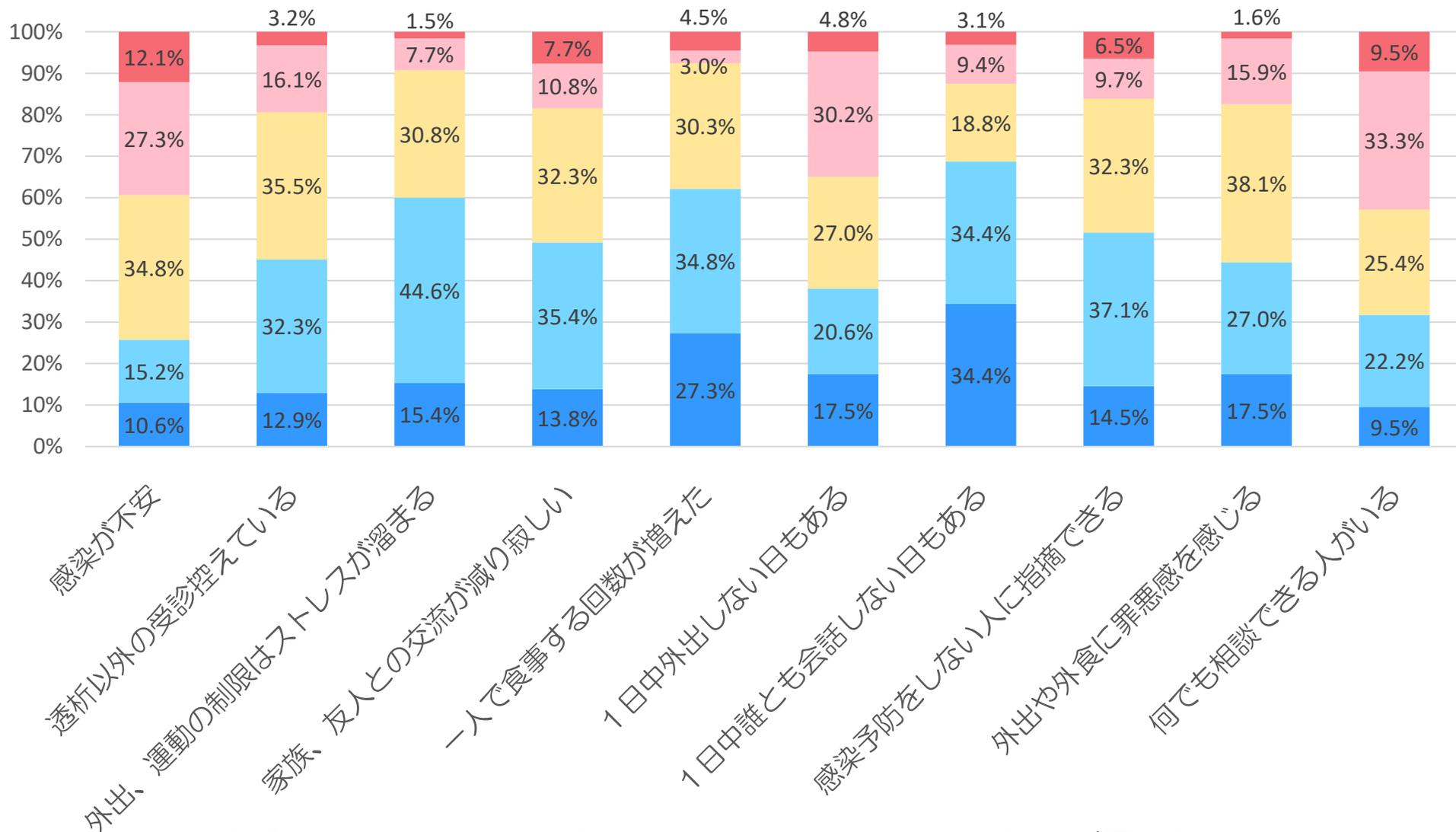
■ 非常に減った ■ 減った ■ 変わらない ■ 増えた ■ 非常に増えた



小括：特にマスク着用の頻度は72.3%で増加している

# <結果4> 心理面の変化について

■ 全く当てはまらない ■ あまり当てはまらない ■ 少し当てはまる ■ 当てはまる ■ 非常に当てはまる



小括：不安やストレスの増大、コミュニケーションの減少が認められる

# 考 察

COVID-19感染拡大により、透析患者のライフスタイルには様々な変化がもたらされている。身体面では体力・筋力の減少を自覚する患者が過半数を占めており、今後更に体力・筋力低下が生じれば、ADL(日常生活動作)やIADL(手段的日常生活動作)が低下し、生命予後を悪化させる要因となり得ると思われた。

また、感染予防に対する意識は高まっているが、心理面では感染の不安・ストレスへの配慮、心のケアを要すと思われた。

# 結 語

アンケートを行うことでCOVID-19に関連する透析患者の状態を把握することができた。

今後も全身状態の観察や声掛けを行い、表情・動作からも患者の変化にいち早く気づき、対応することが重要である。

**中国腎不全研究会  
COI開示**

**筆頭発表者名  
大橋 智恵**

**演題発表に関連し、開示すべきCOI関係に  
ある企業などはありません。**